



国土交通省道路局長 様

平建設第 336 号
平成 19 年 4 月 27 日

平生町長 山田健一



中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました標記の件につきまして、
下記のとおり回答いたします。

記

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本町にとって道路整備の最重要課題は、国道 188 バイパス 2 期の整備であります。

この道路は、隣接する市町を結ぶ都市間を連携する広域的な道路であり、総合病院、
県立高校へのアクセス、中心市街地への商業・産業道路として多機能的な性格を有する
極めて重要な道路であります。

昭和 63 年度には第 1 期工事が完成し、平生町の中心部の慢性的な渋滞が解消されたと
ころであり、引き続き第 2 期工事にも着手していただけるものと思っておりました。

しかしながら、その後に社会経済情勢の変化等もあり、いまだ着手の状況に至ってお
りません。

また、この道路は都市計画道路として計画決定がなされて 30 年以上経過しており、地
域住民の私権に対して大きな制限を課している状況が続いておりますし、まちづくりの
観点から言っても、早期に整備が必要な道路であります。

このことから、「Ⅱ 地域の自立と競争力強化」を最優先政策として、地方国道であつ
ても、地域の実情に沿った整備計画の策定を強くお願いします。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

事業の重点化・集中化により短期間に整備を行うため、時間管理を徹底することによ
り事業の効率性の確保を図り、事業効果の早期発現に努めることが重要であります。

○その他

1・2 級の幹線道路やその他道路において、老朽が著しい橋梁も見受けられ、維持管理
上、今後早い時期に改修補強等が必要な状況になることも予測されますので、耐震補強
や維持補修事業に補助制度の創設が必要であります。

また、旧国道の橋梁（八海橋）について、国道バイパス第 1 期工事の完成に伴い、旧
国道が本町に移管され、町道として維持管理を行ってまいりましたが、老朽化により車両通
行に安全性が確保できない状況となり現在廃道にしております。この橋梁の撤去に高額
の経費を要するため、費用についての財源措置をお願いします。

平生所側から

